

多摩市地域自立支援協議会 令和3年度第3回 会議録

日 時	令和4年3月2日（水） 18:30～20:00	場 所	多摩市役所 301・302 会議室
出 席 者 （ 敬 称 略 ）	委員 ※敬称略	阿部、市川、北山、清水、高松、藤吉、登坂、吉井	
	障害福祉課 （事務局）	平松課長、田島課長、五十嵐主査、上野主査、平林主査、片山主事、山内主事	
欠 席 者	委員 ※敬称略	井上、角川、柴田、菅、野路、山田	
記 録 者	事務局		
項 目	開会 1 これまでの取組状況について 2 優先課題についての協議 3 その他 閉会		
	詳細		
開会 1 これまでの取組状況について	<p>～開会～</p> <p>●委員から出た意見</p> <p>1 感染症への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多摩市での新型コロナウイルスの感染者数はどのくらいか。そのうち、自宅療養者はどれくらいか把握しているのか。 ・国立市では自宅療養者支援が行われており、保健所に繋がるまでの間、市の保健師の方が相談にのって必要な医療や訪問介護に繋いでくれる。多摩市でもそのようなきめ細かい対応がないと重症化したときを考えると不安に思う。多摩市も国立市まではいかなくとも、庁内と保健所等が連携して取組んでほしい。また、国立市の取組みはMX テレビで過去に取り上げられている。参考に youtube などから探してほしい。 ・近隣市でコロナの陽性や濃厚接触者となった当事者が、事業所からの支援の派遣を断られている。当事者としては、支援者がいないと生活ができない。派遣が切られないように感染予防を徹底の上、介護に入ってもらえるように周知してほしい。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染者や自宅療養者数は健康推進課が保健所と連携して把握し、公式ホームページにも公表している。 ・感染者が依然として増加している中、電話が繋がらないと不安に思われている方が多い状況と認識している。多摩市では、保健所からの要請で健康推進課が電話相談の窓 		

口を臨時的に設置して対応している。支援の重要性は認識しており、個別の話については臨機応変に対応している。

- サービス継続については、国からも通知が出ている。事業所も苦しい状況かと思うが、必要なサービスが行き届くように周知など行っていきたいと考えている。

電話相談について、国立市は 24 時間となっているが、多摩市での受付時間はどうか。

【事務局】

月曜日～土曜日の9時から 17 時までとなっている。

感染してからでは、当事者やその家族がどこに相談するべきなからずパニックになってしまう。大変だと思うが、24 時間対応だと市民も非常に安心すると思う。今後、検討してほしい。

- 東京都の支援員がコロナにかかったときの事業者支援策として、支援員を派遣するものがある。しかし、実際はケアに慣れた者でないと代替えが難しく、どんな方が来るのかも分からない。
- 保育園や低年齢の子ども感染者がかなり多いと感じている。今後、多摩市と対応策を検討できないか考えている。

公式ホームページは感染者情報が記載されているが、見やすさはどうか。電話相談の番号が見つからないなど、利用者からの声があれば教えていただきたい。

個別相談の内容の詳細が分からず歯がゆく感じる。個別ケースの状況などは分かるのか。

【事務局】

個別相談では、家族が濃厚接触になりどうするべきかの相談が多い。個々の対応の分野別の件数についてはとっていないため、報告が難しい。

支援者の派遣について、実際に事業者が切ることはないのではないか。万が一のとき、安心して対応するための防護服などの備品がなければ支援を拒否する可能性があるのも、その点での対応策などがあるとよいと思う。

対策については、その時々で状況が変わるため完璧にできるわけではないが、皆様からの情報を得て市の施策等に反映していけたらと思っている。

2 災害対策について

- ・防災計画の概要ではなく、詳しい資料があれば教えて欲しい。情報伝達について、当事者や支援者の声がないと進まないと思うので、プロジェクトチームを立上げる予定があるのか。また、防災安全課と障害福祉課だけではなく、当事者も含めて検討してほしい。
- ・全国的に防災の個別計画の策定が進んでいないことが指摘されている。多摩市は進んでいるのか、またどのように進めていくのか教えて欲しい。
- ・市のケースワーカーが年1回の更新手続きの際に、災害時の対応についてどのように考えているか聞き取りを行うなど、普段の関わりの中で取っ掛かりを作っていけないか。また、障害関連なら障害福祉課、子ども関連なら子育て支援課と、生活に密着した課と共に計画の作成を進めてほしい。
- ・福祉避難所について、防災安全課と障害福祉課で検討するとのことだが、どのような予定で行うのか。また、次回の協議会までには備蓄や避難訓練を行う流れなどの枠組みが欲しい。

【事務局】

- ・現段階では、まずはこの計画ができたところで、今後、中身が詰められていくことになるため、個別の話については今後も検討をしながら進んでいくものかと思っている。
- ・プロジェクトチームの立上げについて、現在話は聞いていないが、障がいのある方と寄り添いながら防災安全課とも調整しながら考えていきたいと思う。
- ・個別計画や福祉避難所についても検討段階にあるので、今後中身について詰められていく中で情報提供させていただく。

次回までには素案などの枠組みが説明できるものが手元にあるとありがたい。

- ・避難行動要支援者名簿の策定について、どのような形で策定されていくのか。
- ・安否確認の体制整備について、自宅以外の場所で必要物資が渡っていくイメージが湧かない。
- ・福祉的避難所の対象となるコミュニティセンターや老人福祉館は避難所としての機能が果たせる訓練や意識はどう作っていくのか。以前に台風の影響で、利用者が避難できず、体育館へ避難しても居場所がなかった。コミュニティセンターなど、ほかの住民が来る中でどのような棲み分けや具体的な支援ができるのか当事者のことを考えながら計画を作成してほしい。
- ・作業所を福祉的避難所として認めてもらえないのか。

【事務局】

- ・要支援者名簿については、障害や介護の情報を踏まえて、国の基準に従って作成している。それらを各関係課や民生委員に配付して活用している。各所管課でも分野ごとに試行錯誤しながら優先順位を考えていかななくてはならない。

- 必要物資の配布については、災害が起きたときには役割分担が設定されており、その役割に沿ってそれぞれの部隊が動いてくことになっている。訓練を行いながら課題を見つけ、その都度改善していけたらと思う。
- 福祉的避難所については、プライバシーの確保のため区画化することやバリアフリー化されている施設を指定するなど、いくつか留意点が示されている。これらは防災安全課中心に準備を進めていくと考えているので、意見を伝えていきたい。
- 作業所については、福祉避難所も関係してくると思う。当事者が慣れている場所を避難所として活用するということが、耐震性能などの条件があると思う。確認の上、報告していきたいと考えている。

要支援者名簿の作成にあたり、市の職員が対象者を抽出するのか、支援者など関係者へ聞き取りの上、作成しているのか。私たちが準備することはあるのか知りたい。避難行動要支援者はどのくらいの人数を想定しているのか。避難行動時の支援方法や車両の数などはどうか。

【事務局】

名簿は災害対策基本法を基に抽出したもの。名簿に載らない方で支援が必要な可能性がある者に関しては各所管課で対応していく。平時の備えが重要であるため、事業所とは日ごろから情報連携を行うことが必要だと考えている。警察や消防、自主防災組織に協力いただきながら、事業所や支援者とも連携を取っていきたいと考えている。

要支援者の人数は非常に多い。例えば市役所の車両は災害が起きたときの用途は決まっているが、具体的な要支援者の避難先については個別支援計画以外では決まっていない。

災害時の心配の声が多いと感じた。実際に災害が起きた時の現場は混乱すると思う。だからこそ、この計画の指針が非常に重要となる。例えば、避難所における避難スペースについて、困難と感じる感じ方は人それぞれであり、不公平感が出るのが考えられるが、指針がないとより混乱すると思う。個別計画や要支援者名簿についても、高齢者や障がい者、ひとり親家庭がいる中でそれらの優先順位をつけて割り振ることは非常に難しいが、現場に任せることは無理だと思う。ある程度の基準がないと余計混乱すると思う。ぜひ障害福祉課からも意見を発信し、詳細が詰まれたものを示してほしい。

計画の中にはきめ細かな配慮や要支援者の対応など、今までの意見が盛り込んである。これらを運用するには様々な課題が出てくると思うので、今回の意見を基に実効性のあるものにしていきたいと思う。

○地域生活支援専門部会の報告

<p>2 優先課題 についての 協議</p>	<p>特に意見はなし。</p> <p>○優先課題についての協議 作成した動画を公式 YouTube の配信に限らず、大学の福祉学科や専門などとの連携、 動画の提供も必要と考える。</p> <p>動画配信について、YouTube 配信以外の方法も検討してほしい。</p> <p>優先課題について、次回の会議までに進捗や具体的な数字も含めた令和3年度の報告を 受ける予定となっている。</p> <p>○全体を通して 先日、封入作業を行う中で物の保管先や作業場所がないことを痛感した。大きな作業が 発生した際、他市で場所を借りることの手間がかかった。工賃アップを今後行っていく ことを含めて場所の確保については難しいものなのか。</p> <p>【事務局】 確実な場所の確保は難しいが、相談があれば個別に考えていきたい。</p> <p>新型コロナウイルスの影響で感染者が高止まりの中で、普段の業務に加えてご足労いた だき、保健所はみなさまの協力ありきで進んでいる。優先課題について保健所もできる 限り協力していきたいと思う。</p>
<p>3 その他</p>	<p>○その他 国立市で活動しているとライフステーションワンステップかたつむりと共同で3月9日 にオンラインで「災害と障がい者」の劇を講演する。関係者に周知できないか。</p> <p>【事務局】 周知させていただく。</p> <p>【事務局】 来年度は3回開催の予定。時期には1回目が7月、2回目が10、11月、3回目が2月 で予定している。</p>
<p>閉会</p>	<p>～閉会～</p>